

# 民生福祉常任委員会記録

(所管事務調査分)

平成27年6月12日

【開催日】 平成27年6月12日

【開催場所】 第1委員会室

【開会・散会時間】 午前10時7分～午後3時40分

【出席委員】

委員長	下瀬俊夫	副委員長	矢田松夫
委員	石田清廉	委員	岩本信子
委員	小野泰	委員	三浦英統
委員	吉永美子		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

傍聴議員	岡山明		
------	-----	--	--

【執行部出席者】

健康福祉部長	河合久雄	健康福祉部次長兼社会福祉課長	岩本良治
高齢福祉課長	吉岡忠司	高齢福祉課主幹	塚本晃子
高齢福祉課技監兼地域包括支援センター所長	尾山貴子	高齢福祉課主査兼高齢福祉係長	坂根良太郎
高齢福祉課主査兼介護保険係長	河上雄治	地域包括支援センター主任	荒川智美
国保年金課長	亀田政徳	国保年金課主幹	安重賢治
国保年金課国保係長	大濱史久	病院事業管理者	河合伸也
病院局事務部長	市村雄二郎	病院局事務部次長兼総務課長	山本敏男
病院局総務課主幹	和氣康隆	病院局医事課長	岡原一恵
新病院建設室技監	山本修	企画課企画係長	杉山洋子

【事務局出席者】

事務局長	古川博三	庶務調査係長	島津克則
------	------	--------	------

【付議事項】

- 1 議案第52号 平成27年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算(第1回)について(高齢)
- 2 所管事務調査 国保料率及び広域化の見通しについて(国保)
- 3 閉会中の継続調査事項について

- 4 新火葬場建設に係る意見交換会について
- 5 議案第62号 山陽小野田市病院局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について  
(病院局)
- 6 所管事務調査 病院事業報告について (病院局)
- 7 所管事務調査 火葬場建設について (山陽斎場の現地視察：環境)

---

午前10時7分 開会

---

- 1 議案第52号 平成27年度山陽小野田市介護保険特別会計補正予算  
(第1回) について  
(記録については議案分に記載)

- 2 所管事務調査 国保料率及び広域化の見通しについて

**【議事の概要】**

平成27年度国民健康保険料率について

- ・昨年度と同率とする。ただし、賦課限度額の見直し及び軽減所得判定の見直しにより、世帯の所得により保険料の増減はある。

**【主な質疑】**

矢田松夫副委員長 本市において一人当たりの医療費が上昇している理由は。

亀田国保年金課長 団塊の世代の人たちが国保加入者になり、病院に行くような世代となった。また、社会的に医療費が増えている状況もある。

下瀬俊夫委員長 被保険者数は減る傾向にあるが、団塊の世代の割合は。

大瀨国保年金課国保係長 65歳から75歳までの割合は26年度が48.4%。25年度が45.3%。3.1%伸びている。

下瀬俊夫委員長 被保険者数が減っている理由は。

大瀨国保年金課国保係長 75歳で後期高齢者医療制度に移る人が多いので、減少傾向にある。

吉永美子委員 下松市は本市と同規模で一人当たりの医療費が低いのはなぜか。

大瀨国保年金課国保係長 年齢構成の違いもある。0歳から39歳まで被保険者数は25年3月末で下松市は23.13%、本市は26年5月末で19.95%となっている。

吉永美子委員 国がジェネリック医薬品の目標値を80%以上としたが、本市の取組の現状と今後の予定は。

亀田国保年金課長 納付書を送る際にパンフレット等を封入している。また、ジェネリック医薬品との差額通知書を送付している。

吉永美子委員 本市のジェネリック医薬品を使用しているパーセントは。

大瀧国保年金課国保係長 たしか57%ぐらい。当初の目標が28年度末に60%であったが、目標が上方修正されたら、それに向かって取り組んでいく。今ジェネリック医薬品の希望シールを保険証と一緒に送付している。

三浦英統委員 一人当たりの医療費41万8,884円の内ジェネリック医薬品は幾らか。ジェネリック医薬品を使わない場合幾らになるか。医療費の占める割合は。ジェネリック医薬品に対する今後の方向性は。

亀田国保年金課長 金額については資料がないので後日返答したい。医療費は医学管理料等のウエイトが大きくなっている。医学管理料等については保険者が対応しにくい部分である。ジェネリック医薬品については対応していく。

三浦英統委員 全体の医薬品費の内ジェネリック医薬品が占める割合は幾らか。

下瀬俊夫委員長 KDBで普通の医薬品とジェネリック医薬品との差が出るのか。

大瀧国保年金課国保係長 KDBでは難しい。毎月国保連合会から後発薬品の利用率が出ている。ある時点の月の状況を比率であれば示せるのではないか。

石田清廉委員 自宅に処方された薬を溜め込んでいる人もいる。重複診療が医療費を押し上げている。そういった状況をどのように把握しているか。

亀田国保年金課長 国保連合会から通知があるので、健康増進課に依頼し保健指導してもらっている。

石田清廉委員 医療機関の情報公開によって薬の出し方を一貫して管理できないのか。

亀田国保年金課長 現在の状況では難しい。

大瀧国保年金課国保係長 お薬手帳の使用を推進している。

岩本信子委員 薬剤師と連携し、薬を管理するシステムとしてはお薬手帳しかないのか。

下瀬俊夫委員長 掛かり付け薬局との関連も含めてどうか。

亀田国保年金課長 個人的な感触として、病院で診察し、その病院の隣にある薬局で薬をもらっている方が多いと感じている。お薬手帳も薬局ごとに持っている方もいる。

小野泰委員 ジェネリック医薬品にするよう薬局に指導できるか。

大瀨国保年金課国保係長 薬剤師会等を通じて啓発は可能であると考えている。  
小野泰委員 重複診療はきちんと把握して指導してもらいたい。団塊の世代の話が出たが、医療費のピークはあと4、5年か。

大瀨国保年金課国保係長 団塊の世代は今65歳ぐらいなので、10年経過すれば後期高齢者医療制度に移ることになる。

岩本信子委員 国保加入割合は幾らか。

亀田国保年金課長 26年度で22.85%、県内市の平均が24.56%、下松市が23.2%となっている。

吉永美子委員 保健師による多重受診の指導の現状についてはどうなっているか。

亀田国保年金課長 指導結果についてはまだ聞いていない。確認し返答したい。

吉永美子委員 その効果を発表できるようにしてもらいたい。

下瀬俊夫委員長 国がジェネリック医薬品の割合を2017年度中に80%を目標にしたが、市として具体的な方策があるか。

亀田国保年金課長 今から検討する。

下瀬俊夫委員長 市民病院はジェネリック医薬品不可のところにチェックがあるものが多いと薬局から聞く。薬局がこれに従うか従わないかの判断をすることはできるのか。

亀田国保年金課長 それはわからない。

下瀬俊夫委員長 医療費は上がっているのに、国保料率を据え置きにしたが、どういう対応を取ったのか。

亀田国保年金課長 基金の取り崩しを行っている。

下瀬俊夫委員長 基金はどのくらい残っているか。

亀田国保年金課長 今年度取り崩し、最終的に5億3,600万円。

下瀬俊夫委員長 変わっていないのではないか。

大瀨国保年金課国保係長 当初予算のとき、取り崩した後の金額を報告しているので、そのときと変わっていない。

下瀬俊夫委員長 幾ら取り崩したのか。

大瀨国保年金課国保係長 当初予算で1億200万円余りの取崩しを計上している。さらに取り崩す必要があれば補正予算での対応となる。

## 【議事の概要】

国民健康保険の広域化について

- ・都道府県は安定的な財政運営等に関し中心的な役割を果たす。
- ・都道府県は毎年度、市町村ごとの標準保険料率を算定、公表し、市町村は標準保険料率を参考に保険料率を定める。
- ・市町村は保険料の賦課、徴収、保険証の発行、資格管理、保健事業などを

行う。

- ・国による財政支援の拡充として27年度から1,700億円、29年度から毎年3,400億円を投入する。
- ・国は都道府県、市町村の取り組みを支援する保険者努力支援制度を創設する。
- ・現時点では明確になっていない事項も多い。

【主な質疑】

三浦英統委員 仕事内容が余り変わらないのではないかと。また保険料率も高くなるのではないかと。一般会計からの繰入はどうか。

亀田国保年金課長 今から協議する事項となっている。繰入については27年度から法定の繰入のみで、基準外の繰入はなくなった。

大瀨国保年金課国保係長 基準外繰入金については特段の取り決めはないが、厚生労働省のコメントでは基準外の繰入を禁止するものではないと書いてあるので、各自治体の判断になるかと思う。

岩本信子委員 後期高齢者医療のように県が単一で事業するわけではないということだけが確かなのか。

亀田国保年金課長 そのとおりである。

岩本信子委員 市の基金はどのような扱いになるのか。

亀田国保年金課長 まだ決まっていない。今からの協議になる。

下瀬俊夫委員長 協議とは市町村国保と県が協議するのか。

大瀨国保年金課国保係長 今国が知事会等との協議を進めているところである。その後山口県の中で協議会を開催することになる。昨年も一度開催されたが、今後もっと頻繁に開催されることになるのではないかと。

下瀬俊夫委員長 国民健康保険は小さいほうが上手くいっている。県単位にすれば上手くいくという発想が間違っていると思っている。県に納める納付金は市が関わって決めることができるのか。

亀田国保年金課長 県で市町ごとの標準保険料率を決め、それを参考に市町で実際の保険料率を決めることになる。

下瀬俊夫委員長 保険料の収納率と納付金との関わりは。収納率が低ければ、その負担はどうか。

大瀨国保年金課国保係長 県で標準保険料率を定める際に、標準の収納率を設定すると思われる。それを下回った場合、必要な保険料が集まらない可能性がある。その場合、基金の活用や県で財政安定化基金を設置するようになっているので、この基金の活用も検討されている。

下瀬俊夫委員長 一般会計が負担するようなことになるのではないかと。

大瀨国保年金課国保係長 広域化しても個別の保険者としても保険料が不足すれば基金の活用や基準外の繰入をする可能性はある。

吉永美子委員 県が運営するようになって効率化される事務は何か。

大濱国保年金課国保係長 詳細は不明であるが、補助金の申請は県でやるように示されている。

岩本信子委員 広域化しても今と同じではないか。

大濱国保年金課国保係長 国は市町村国保の構造的な課題を改善するために広域化を考えている。市町村の納付金を決定する場合に医療費水準、所得水準を考慮し決定することが基本となっており、本市にとっては軽減となるのではないかと期待している。

吉永美子委員 資格証明書や短期被保険者証の考え方は統一化しないで、今までどおり市の考え方に基づいてやっていくのか。

亀田国保年金課長 資格の管理は市町村の業務となっている。

三浦英統委員 広域化についてはいつ頃見通しが立つのか。

亀田国保年金課長 今は未定である。

岩本信子委員 国の交付金は市にも交付されるのか、県に一本化されるのか。

亀田国保年金課長 県に交付される部分と一部市町村にも交付される予定で協議されると聞いている。

---

午前 11 時 25 分 休憩

---

---

午前 11 時 31 分 再開

---

### 3 閉会中の継続調査事項について

#### 【議事の概要】

下記事項を9月定例会まで継続して調査することを委員全員賛成で決定した。

- ・国民健康保険及び国民年金に関すること。
- ・介護保険に関すること。
- ・在宅介護者支援に関すること。
- ・保健衛生に関すること。
- ・保育所に関すること。
- ・病院経営に関すること。
- ・包括地域医療に関すること。
- ・人権・男女共同参画に関すること。
- ・火葬場整備事業に関すること。
- ・新ごみ処理施設に関すること。
- ・空き家等の適正管理について

- ・子育て支援を中心に結婚や出産をしやすくなる環境整備に関すること。

#### 4 新火葬場建設に係る意見交換会について

##### 【議事の概要】

意見交換会の開催について下記の事項を決定した。

- ①開催日時 平成27年6月20日(土) 午後2時  
開催場所 加藤公会堂  
出席委員 下瀬俊夫 石田清廉 岩本信子 三浦英統  
役割分担 司会 下瀬俊夫 記録 三浦英統 受付 岩本信子
- ②開催日時 平成27年6月21日(日) 午後2時  
開催場所 西善寺公会堂  
出席委員 下瀬俊夫 矢田松夫 石田清廉 小野泰 吉永美子  
役割分担 司会 下瀬俊夫 記録 矢田松夫 受付 小野泰
- ③開催日時 平成27年6月21日(日) 午後4時  
開催場所 本町四公会堂  
出席委員 下瀬俊夫 矢田松夫 石田清廉 小野泰 吉永美子  
役割分担 司会 下瀬俊夫 記録 石田清廉 受付 吉永美子
- ④当日の配布資料は新火葬場建設計画及び平面計画、動線計画図(案)とする。

---

午前11時48分 休憩

---

---

午後1時3分 再開

---

#### 5 議案第62号山陽小野田市病院局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について

(記録については議案分に記載)

#### 6 所管事務調査 病院事業報告について

##### 【議事の概要】

入院、外来の患者数等の動向について(平成27年2月から4月実績)

- ・患者数の動向、資金繰りについては別紙資料のとおり

さんさんネットの整備状況について

- ・本年度から市民病院も参加予定
- ・地域医療連携のために積極的に活用

外構工事の進捗状況について

・仮設橋の撤去は4月末に完了。職員駐車場は5月末に完了。ヘリポートは現在整備中で、今月末完成予定。

・外構工事は5月末で進捗率約90%。全体工事の完了は7月末の契約。  
新病院建設にかかる地元事業者活用状況について

・平成27年5月末の支払実績で地元企業に20億2,300万円、地産地消で2億3,300万円。合わせて22億5,600万円の支払いとなっている。

#### 【主な質疑】

三浦英統委員 地元事業者の活用の当初目標は幾らか。

市村病院局事務部長 当初は地元事業者の活用が30億円、地産地消が2億程度で提案を受けている。

三浦英統委員 今外構工事をしているが、これにも地元企業が入っているのか。

市村病院局事務部長 入っているので、若干金額も上がる。

三浦英統委員 入院1日平均の目標数は幾らか。4月に入り患者数が減少した原因は何か。

市村病院局事務部長 予算上は183人で計上している。患者数が増えるのは冬の時期なので4月は患者数が減少している。

小野泰委員 3月も患者数が減少しているのは休院して移動した関係か。

市村病院局事務部長 移転したのは10月1日で、累計には影響している。

小野泰委員 産科が好調であると聞いているが、最近の動向は。

山本病院局事務部次長兼総務課長 前年は月平均17人の出産であったが、平均30人で推移している。4月は29人、5月は24人であるが引き続き順調に推移している。

小野泰委員 現在の外来の待ち時間の状況はどうか。

山本病院局事務部次長兼総務課長 内科など待たせることがあるが、病院全体で待ち時間を減らす取り組みをしている。すぐに効果は出ていないが、引き続き努力する。

矢田松夫副委員長 医師30名体制はどうなったか。

河合病院事業管理者 4月に麻酔医が一人増え、6月に眼科医が一人増えている。来年度は小児科医を採用したいと考えている。常勤医師が足りないところは非常勤医師で対応しているが、非常勤医師は教授や准教授、講師などが来ている。新病院になってすぐにではなく、段々良くなっていく。

矢田松夫副委員長 現在常勤医師は26名で、年内に27名になるということでもいいのか。

河合病院事業管理者 6月で26名になった。今年度中に増えるということは決まっていない。

矢田松夫副委員長 昨年の委員会で1名から3名増えると答えている。

河合病院事業管理者 医師1名が病気で辞めたので、27名が26名になっている。少なくとも2名は増えている。

矢田松夫副委員長 地元企業の実績は8社協以外の企業の実績か。

和氣病院局総務課主幹 8社分もあるが、それ以外の業者も入っている。

市村病院局事務部長 地元企業への発注高が報告した数字である。

矢田松夫副委員長 8社協以外の企業か。ほとんど8社協ではないか。

市村病院局事務部長 ほとんどが8社である。地元企業の発注高を多くすることが当初の狙い。満遍なくという認識は持っていなかった。

矢田松夫副委員長 できるだけ地元の企業を使ってくれと委員会でも言ってきた。その8社がほかの地域から孫請けを連れてくるという状況になっている。それを変えないと企業育成にはならない。

市村病院局事務部長 二次の下請けについてもできるだけ市内業者を使うようお願いはしている。

下瀬俊夫委員長 何次下請けまで追跡しているのか。

市村病院局事務部長 施工管理台帳により全て把握している。

下瀬俊夫委員長 それを見たら地元分が分かるのか。

市村病院局事務部長 当初目標が一次下請けの金額。どこまで波及しているか把握していない。

下瀬俊夫委員長 60%目標が40%しかないから、把握しているのであれば分析が必要ではないか。

市村病院局事務部長 分析が必要かもわからないがしていない。下請けを清水建設がネットで公募していたが応募がなかったと聞いている。

石田清廉委員 建設費が増額されたのに、地元企業への発注高が減るのはおかしいのではないか。

市村病院局事務部長 下請けについては民と民の契約なので、病院が拘束をかけることはできない。清水建設が選んだということ。地元企業の発注については目標を下回れば約款に基づいて違約金を取ることになる。

下瀬俊夫委員長 当初の建設費から増えた部分はどうなるのか。40%以下ではないか。

市村病院局事務部長 工事費だけでは45億から51億になっている。当初の提案は工事費の何%ではなく、何億円の地元発注ということなので、率に割り戻すか金額でいくのかについては今回答できない。

矢田松夫副委員長 舗装と外構工事が6,500万ぐらい追加となったが、これに何%地元企業が入ったか。市民病院の建設は地元の企業を使ってくると皆期待しているが、ほとんどメリットがなかったという声を聞く。

山本新病院建設室技監 清水建設は工種ごとにネットで公募をかけていたが、

市内の業者の申し込みがないということもある。外構については舗装、植栽も募集をかけており、植栽は市内の業者がやっている。舗装については清水建設の子会社がやっている。

石田清廉委員 清水建設などのゼネコンは子会社を持っている。地元に出すのは無理。公募をかけているが、特殊物件に地元の業者が入るのは無理ではないか。また、建設費の増額された部分が地元に戻されたのか。

河合病院事業管理者 新病院は安くできたと思っている。光に市民病院ができるが80億から100億掛かると思う。全体の経費を抑えられたということも評価してもらいたい。

吉永美子委員 清掃や警備等の維持管理業務は市内業者か。

市村病院局事務部長 ビルのメンテナンスは警備と同じ会社で市内業者ではない。清掃は2年契約のため旧病院と同じ会社で市外の会社である。

吉永美子委員 市内業者に限って入札できないか。

市村病院局事務部長 清掃もハイテク化して人員も必要と思っている。それが賄えば市内業者に限っても問題はない。今は従来からの8社による入札を継続している。

吉永美子委員 院内保育園の活用状況はどうか。

和氣病院局総務課主幹 申し込みは5名で、2名が通常保育、3名が一次預かり。一次預かりはまだ利用されていない。

吉永美子委員 定員割れだが、このまま運営していくのか。想定内なのか。

和氣病院局総務課主幹 園児は徐々に増えていくと考えている。

下瀬俊夫委員長 委託料は定員で算定するのか、実績で算定するのか。

和氣病院局総務課主幹 委託料は必要になった保育士の勤務時間数で決めている。

下瀬俊夫委員長 現在保育士は何名必要なのか。

和氣病院局総務課主幹 常時いるのは2名。昼食時に1名増員している。

下瀬俊夫委員長 3名が通常の勤務ということになるのか。

和氣病院局総務課主幹 保育士1人1時間1,500円。朝と夜は1,700円という契約になっているので、保育士何人で幾らという契約ではない。

三浦英統委員 今後どの分野の医師の採用を考えているのか。

河合病院事業管理者 大学の状況を参考にしながらやっていかざるを得ない。

下瀬俊夫委員長 市民病院と開業医との関係をネットでどう作るかという方向性を聞きたい。また、地域連携の体制をどうするのかを聞きたい。

河合病院事業管理者 病診連携をさんさんネットを活用してやっていきたい。地域連携室は2人だが、改革プランで総枠が決まっているので、人数を追加するのは今の段階では難しい。実際には医事課が加わってやってい

るので、順調だと思っている。

---

午後 2 時 27 分 休憩

---

---

午後 3 時 再開

---

#### 7 所管事務調査 火葬場建設について

##### 【議事の概要】

山陽斎場及び隣接する東墓地公園の現地を視察し、新火葬場建設予定地の周辺環境、景観等を確認した。

---

午後 3 時 40 分 散会

---

平成 27 年 6 月 12 日

民生福祉常任委員会委員長 下 瀬 俊 夫